

銅・アルミレポート

橋本アルミ株式会社取締役

橋本 健一郎



10月のアルミ概況および11月の見通し (3)

予想レンジ

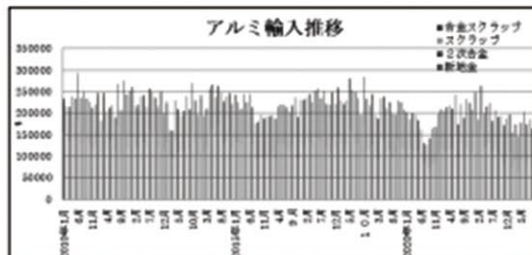
LME 現物後場買い 2,200~2,400ドル *

スクラップ +5円~10円 (前月最終価格より) *

為替 145円~150円 レンジ内

(1か月間TTM)

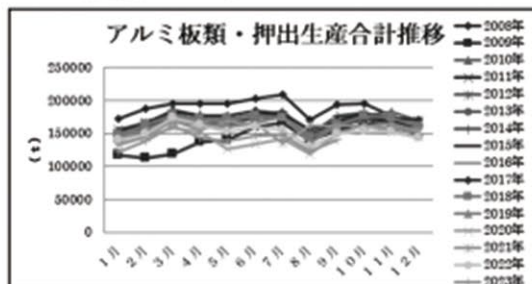
【輸入推移】



出典 財務省 貿易統計

【アルミ圧延・押出品生産数】

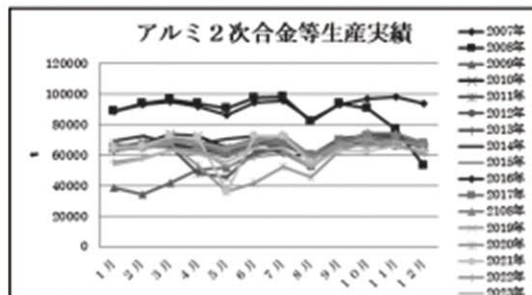
日本アルミニウム協会発表の圧延品の生産出荷動向によれば板類・押出生産合計は前年比-6%の14万903 tで18カ月連続マイナス。



出典 日本アルミニウム協会

【アルミニウム2次合金、同合金地金等生産実績】

前年比-4.4%の6万3,555 tで5カ月ぶりマイナス。出荷は-4.4%の6万4,703 tで4カ月ぶりマイナス。



出典 日本アルミニウム合金協会

■国内概況まとめ

【自動車生産】

生産動態統計によると9月の自動車生産台数は前年比+13%の80万6,639台。

輸出は前年同月比+12.9%の38万9,194台。

【自動車販売】

日本自動車販売協会連合会によると10月の自動車販売台数(軽除く)は前年比+14.9%の24万3,144台。

内訳は乗用車が+12.4%、貨物が+12.3%、バスは+51.6%。

【住宅着工戸数】

9月の新設住宅着工は、持家、貸家及び分譲住宅が減少したため、全体で前年同月比6.8%の減少となった。また、季節調整済年率換算値では前月比1.5%の減少となった。

【アルミ圧延・押出品生産数】

日本アルミニウム協会発表の圧延品の生産出荷動向によれば板類・押出生産合計は前年比-6%の14万903 tで18カ月連続マイナス。

板類は8万5,529 tの-8.6%で17カ月連続マイナス。

押出類は5万5,374 tの-1.8%で21カ月連続マイナス。

【アルミニウム2次合金、同合金地金等生産実績】

前年比-4.4%の6万3,555 t 5カ月ぶりマイナス。

出荷は-4.4%の6万4,703 tで4カ月ぶりマイナス。

●アルミ

【輸出】

新地金は+200%の282 t。

二次合金は-63.5%の652 t。

スクラップは-3.4%の3万5112t。

アルミ缶は-16.1%の5998 t。

【輸入】

新地金は-26.7%の7万6,878 t。

二次合金は+1%の8万6,655 t。

スクラップは-12.3%の612 t。

合金スクラップは+5.8%の5,306 t。

(次頁へ)

世界を結ぶ循環流通サービス
原料から製品まで

Ogico ONOYARI Corporation

銅・亜鉛・鉛・錫・ニッケル・アルミ・非鉄金属全般

株式会社 扇谷

本社 大阪市西区土佐堀町1丁目3番7号
tel:06-6444-1521~1530

東京支社 東京都千代田区神田錦町3丁目15番地
tel:03-5282-4800

名古屋支社 名古屋市中村区名駅3丁目16番22号
tel:052-571-2005

海外 シンガポール・香港・タイ・台湾・
マレーシア・フィリピン・上海・深圳・ベトナム

<http://www.ogico.co.jp>

【見通し】

【自動車】

9月の自動車生産が+13%。10月国内販売台数が前年比+14.9%、9か月連続で生産、販売共に回復の兆しあり、今後に期待。

【アルミ圧延・押出生産数】

日本アルミニウム協会発表の圧延品の生産出荷動向によれば板類・押出生産合計は前年比-6%の14万903tで18か月連続マイナス。

前月に続き中国景気後退によるスマホ需要の低迷から来月も期待薄。

【アルミニウム2次合金、同合金地金等生産実績】

前年比-4.4%の6万3555t 5か月ぶりマイナス。

出荷は-4.4% 6万4703t 4か月ぶりマイナス。

日本の自動車生産販売は堅調な中5か月ぶりに現況、今後に注視。

【スクラップ景況予想】

流通（一次問屋）在庫は前月に続きLME価格が2,286-2,252ドルとレンジ内傾向だった。中国筋の高買により在庫薄。

需要面に関しては、日本の自動車生産販売が堅調なこと、円安から輸入物が高くなっていることから需要が引き締まっている。LME価格の上昇による中国筋の購買も。

【LME・為替予想】

今月は以下の項目に左右される。

流通（一次問屋）今月銅建値が128万から一時122万、最終125万下落傾向だった。

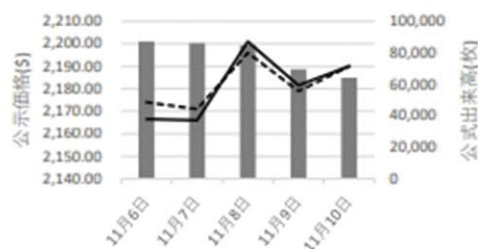
在庫は今月も伸銅品生産減、発生減から在庫薄。

需要面に関しては自動車生産販売の回復から一定の需要は出るが民生用途も中国を中心に需要の回復が遅れている一方中国への輸出は増えており国内需給は引き締まっている。

<https://nikkankinzoku.co.jp/>
PW: nikkin202311

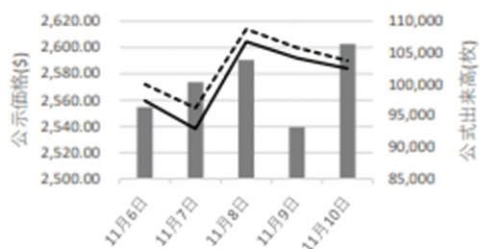
LME公式値週間推移 11月6日～11月10日(現地)

LME鉛



■ 出来高 — 直物 - - - 先物

LME亜鉛SHG



■ 出来高 — 直物 - - - 先物

【LME・為替予想】

今月は以下の項目に左右される。

①米FRBの金融政策、②中国の景気対策。

①に関しては、10月の米雇用統計で非農業部門の雇用者数が市場予想を下回ったこと、失業率は3.9%と前月と同じ3.8%を見込んでいた市場予想を上回り、平均時給は前月比0.2%増で、市場予想(0.3%増)ほど伸びなかったことなどから12月に利上げはないのでは？

②に関しては、消費は増加幅拡大も一部に弱さ、物価は前年比横ばい。

10月24日、全国人民代表大会常務委員会第6回会議で1兆元の国債増発が承認されたことなどから一方的景気後退はないのでは？

これらを踏まえた今月のアルミ価格は2,200-2,400ドル(セツル)との予想。

ドル円値は145円~150円(TTM)台を予測。

スクラップ購買価格に関しては+5~10円程度と予想している。

(「10月のアルミ概況および11月の見通し」おわり)

故銅・銅滓 アルミ原料

高価即金買入

——ご照会を乞う。

森下商店

大阪市西成区南津守7-12-46

TEL (06)6659-5577~8

FAX (06)6659-5579